

平成 15年 3月期

第 3四半期業績概況

平成 15年 2月 6日

上 場 会 社 名

三 櫻 工 業 株 式 有 限 公 司

(コード番号 :6584 東証第一部)

(URL http://www.sanoh.com)

問 合 せ 先

執行役員財務経理担当 林 淳二

(TEL (0280) - 33 - 1111)

1. 四半期連結損益計算書等の作成等に係る事項

財務諸表等の作成に際して準拠した基準

: (中間連結財務諸表作成基準)

・ 会計処理方法の変更の有無

無

・ 中間決算等と異なる会計処理の有無

無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無

有 (連結(新規) 4社)

公認会計士又は監査法人による関与の有無

無

2 平成 15年 3月期第 3四半期の業績概況 (平成 14年 4月 1日 ~ 平成 14年12月 31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)金額は百万円未満を四捨五入して表示

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 (四 半 期) 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円
15年3月期第 3四半期	35,081	2,412	2,371	1,162
(参考)14年 3月期	40,592	1,099	1,571	905

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
15年3月期第 3四半期	32.87	-
(参考)14年 3月期	25.07	-

(注)四半期業績概況の開示は当四半期より実施したため、前年同四半期の実績の記載及び比較は行っていません。

〔経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第 3 四半期の国内経済は、厳しい雇用環境のなか、個人消費は依然として低迷が続き、金融システムに対する不安感が解消されず、これらが株価を一層下落させるなど、事業環境は厳しい状況で推移しました。

自動車の国内販売は、長引く市場の低迷による影響を受け前年同期に比べて若干減少いたしました。

一方輸出は、北米及びアジア向け輸出の好調に支えられ対前年同期を上回りました。それにより、生産台数は前年同期を上回りました。

このような状況のなか、当社グループは主力製品である自動車・輸送用機器用配管製品の受注拡大、新規事業である自動車用樹脂製品の新規受注に取り組みました。

当第 3 四半期の経営成績は、売上高は 3 5 0 億 8 1 百万円となりました。収益につきましては、グループをあげて生産性向上および原価低減などを推進しました結果、経常利益は 2 3 億 7 1 百万円、当期純利益は 1 1 億 6 2 百万円となりました。

< 国内 >

売上げは、自動車の生産台数の増加に伴い、主力製品である各種チューブ及び各種自動車向け製品全般について対計画を上回りました。特に自動車のシートベルト用バックル・ショルダーアジャスター、プリテンショナー用チューブをはじめ、車輛配管製品(ブレーキ・燃料配管用等)やエンジンシステム向けのブレイジング製品(燃料噴射用、冷却水循環用、オイル冷却用等)、車輛の軽量化(アルミ製インテークマニホールド)及び環境規制対策向け製品(フューエル・インジェクションレール)、樹脂製品(クイックコネクター、ナイロンチューブ、マルチレイヤーチューブ等)についてもそれぞれ大きく売上げを伸ばしました。

< 海外 >

スチールチューブ及び設備の輸出は、北米及びアジア向けの製品の売上げを中心に増加し前中間期に比べて大幅に増加しました。連結子会社の業績につきましてもそれぞれ好調に推移いたしました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
15年3月期第 3四半期	44,528	26,026	58.4	737.01
(参考)14年 3月期	43,275	26,481	61.2	748.99

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
15年3月期第 3四半期	2,420	2,829	67	3,891
(参考)14年 3月期	2,900	2,680	282	4,257

【財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等】

当第3四半期の財政状況は前期末と比較して、総資産は12億53百万円増加、株主資本は4億55百万円減少し、株主資本比率は2.8%減少しました。

総資産増加の主な要因は、受取手形及び売掛金が16億74百万円増加、投資有価証券が時価評価等により11億68百万円の減少及びこれに伴う繰延税金資産が4億6百万円増加したことによるものです。

また、負債は前期末と比較して17億32百万円増加しました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が16億49百万円増加したことによるものです。

(キャッシュフローの状況)

営業活動によるキャッシュフローは24億20百万円増加しました。これは、税金等調整前当期純利益が19億88百万円、減価償却費が17億73百万円、売上債権の増加が17億32百万円、仕入債務の増加が17億2百万円、法人税等の支払額が10億8百万円あったこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュフローは、有形固定資産の取得による支出が26億53百万円あったこと等により、28億29百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュフローは、借入金の純増加が3億3百万円、配当金の支払額が3億54百万円あったこと等により、67百万円減少しました。

(参考1)四半期個別経営成績等の概況(平成14年4月1日～平成14年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
15年3月期第3四半期	30,098	2,125	2,192	1,072

	総資産	株主資本
	百万円	百万円
15年3月期第3四半期	39,283	26,236

3.平成15年3月期の連結業績予想(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	45,500	2,700	1,450	41.06

【業績予想に関する定性的情報等】

後半期の自動車業界におきましては、国内市場についてはほぼ前年並み、北米市場は前年より減少の見込みで、アジア市場は好調に推移すると予想されます。

収益状況につきましては、北米市場での為替変動の影響などがありますが、引き続き原価低減活動の強化や新機種立上がりなどを積極的に行い、通期業績といたしまして、売上高455億、収益といたしましては、前回公表並みの利益を達成する見込です。

(参考2)平成15年3月期の個別業績予想(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり年間予想配当金	
				期 末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
通 期	39,500	2,500	1,300	5.00	10.00

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

四半期連結(要約)損益計算書

(単位：千円未満切捨て)

科 目	当第3四半期 (自平成14年4月1日) (至平成14年12月31日)		前連結会計年度 (自平成13年4月1日) (至平成14年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比
		(%)		(%)
売上高	35,080,533	100.0	40,591,546	100.0
売上原価	29,462,233	84.0	35,333,688	87.0
売上総利益	5,618,299	16.0	5,257,857	13.0
販売費及び一般管理費	3,206,781	9.1	4,158,543	10.2
営業利益	2,411,518	6.9	1,099,314	2.7
営業外収益	346,685	1.0	700,620	1.7
営業外費用	387,585	1.1	228,878	0.6
経常利益	2,370,618	6.8	1,571,056	3.9
特別利益	5,037	0.0	93,097	0.2
特別損失	388,080	1.1	133,950	0.3
税金等調整前当期純利益	1,987,574	5.7	1,530,203	3.8
法人税・住民税及び事業税	866,384	2.5	840,014	2.1
法人税等調整額	50,003	0.1	190,090	0.5
少数株主利益	9,482	0.0	24,989	0.1
当期純利益	1,161,711	3.3	905,269	2.2

四半期連結(要約)貸借対照表

(単位：千円未満切捨て)

科 目	当第3四半期末 (平成14年12月31日現在)		前連結会計年度末 (平成14年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		(%)		(%)
流 動 資 産	17,315,204	38.9	15,529,590	35.9
現金及び預金	4,031,210		4,397,874	
受取手形及び売掛金	9,986,387		8,311,908	
たな卸資産	2,347,608		2,146,536	
繰延税金資産	109,247		210,828	
その他	840,751		462,442	
固 定 資 産	27,204,006	61.1	27,743,998	64.1
有形固定資産	17,280,119	38.8	17,165,028	39.7
無形固定資産	79,832	0.2	83,704	0.2
投資その他の資産	9,844,054	22.1	10,495,265	24.2
投資有価証券	8,213,995		9,382,311	
繰延税金資産	1,094,920		523,734	
その他	535,138		589,219	
繰 延 資 産	9,145	0.0	1,751	0.0
資 産 合 計	44,528,356	100.0	43,275,340	100.0
(負債の部)				
流 動 負 債	11,152,138	25.0	9,479,915	21.9
支払手形及び買掛金	7,625,925		5,977,017	
短期借入金	1,834,230		1,601,381	
その他	1,691,981		1,901,516	
固 定 負 債	6,907,108	15.5	6,847,707	15.8
長期借入金	1,434,466		1,524,233	
退職給付引当金	5,266,583		5,136,163	
その他	206,058		187,310	
負 債 合 計	18,059,246	40.6	16,327,622	37.7
(少数株主持分)				
少 数 株 主 持 分	442,835	1.0	466,624	1.1
(資本の部)				
資 本 金	3,041,000		3,041,000	
資 本 剰 余 金	2,530,076		2,530,076	
利 益 剰 余 金	19,794,774		19,027,232	
その他有価証券評価差額金	1,741,303		2,307,831	
為替換算調整勘定	753,158		113,535	
自 己 株 式	327,721		311,512	
資 本 合 計	26,026,274	58.4	26,481,093	61.2
負債、少数株主持分及び資本合計	44,528,356	100.0	43,275,340	100.0

四半期連結(要約)剰余金計算書

(単位：千円未満切捨て)

	当第3四半期 (自平成14年4月1日) (至平成14年12月31日)	前連結会計年度 (自平成13年4月1日) (至平成14年3月31日)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	2,530,076	2,530,076
資本剰余金期末残高	2,530,076	2,530,076
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	19,027,232	18,549,281
利益剰余金増加高	1,172,294	915,248
利益剰余金減少高	404,752	437,296
利益剰余金期末残高	19,794,774	19,027,232

四半期連結(要約)キャッシュフロー計算書

(単位：千円未満切捨て)

科 目	当第3四半期 (自平成14年4月1日) (至平成14年12月31日)	前連結会計年度 (自平成13年4月1日) (至平成14年3月31日)
営業活動によるキャッシュフロー		
税金等調整前当期純利益	1,987,574	1,530,203
減価償却費	1,773,208	2,398,646
売上債権の増減額	1,732,456	155,545
たな卸資産の増減額	190,154	658,279
仕入債務の増減額	1,702,312	995,720
その他	197,301	23,367
小計	3,343,182	3,770,321
法人税等の支払額	1,008,123	710,743
その他	85,389	159,529
営業活動によるキャッシュフロー	2,420,448	2,900,048
投資活動によるキャッシュフロー		
有形固定資産の取得による支出	2,652,969	2,770,891
投資有価証券の取得による支出	174,418	67,701
投資有価証券の売却による収入	-	176,389
その他	2,059	17,620
投資活動によるキャッシュフロー	2,829,447	2,679,824
財務活動によるキャッシュフロー		
短期借入の増減額	342,693	40,957
長期借入による収入	3,475	967,800
長期借入金の返済による支出	42,741	75,153
親会社による配当金の支払額	353,513	362,105
自己株式の買取による支出	16,209	310,952
その他	475	21,147
財務活動によるキャッシュフロー	66,769	281,692
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,573	18,149
現金及び現金同等物の増加額	484,341	520,065
現金及び現金同等物の期首残高	4,257,225	3,734,488
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	117,654	2,672
現金及び現金同等物の期末残高	3,890,538	4,257,225